

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 （アウトカム）	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）
館林市	③学校と家庭 の課題	放課後等にお ける多様な体 験活動	青少年の体験活動が不足して いることにより、児童が将来の 夢や職業観を持つことが難しく なることや、様々なことへ挑戦 する意欲が乏しいことが課題と してあげられる。 また、市内小学校の学校評価 においても「児童は、自分の将 来の夢や希望をもっています か。」という指標がある。 具体的には、「将来の夢や希 望する進路について考え、親 子で話し合っている児童の割 合(80%)」である。	チャレンジ通学合宿の実 施やデイキャンプの実施	様々な体験活動を通して、児童の内面に 新しい見方や考え方が芽生える。また、 大人とのかかわりを通して同様の効果 をもたらすことを狙う。	参加児童の保護者を対象にアン ケートを実施し、体験をもとに将 来の夢や職業観につながる話 題が増えるような取り組みとして いく。	事業実施後の保護 者アンケート項目「お 子さんは家で学校や 放課後子ども教室で 体験したことについ て話すことが増えま したか。」「そう思 う」と回答した割合	63	%	70	82	04 本 年度 の目 標値を 上回 り、課 題の 解決に 向けて 大きな 成果 が見ら れた 目標値を上回る結果を得られた。 令和6年度の活動では課題である、職業観を持つことや挑 戦する意欲を高めることにつなげるため、 ハローワークなどと連携し、体験活動にキャリア教育を取り 入れた講座をおこなった。課題として挙げている「児童が将 来の夢や職業観を持つことが難しくなること」について改善 の一助になったと考える。